

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	社会情報システム学特論2		
英文授業科目名	Advanced Topics in Information Systems 2		
開講年度	2009年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-社会知能情報学専攻-応用科目		
開講学科・専攻	社会知能情報学専攻		
担当教官名	藤村 考、関 良明		
居室	客員教員		

公開E-Mail	授業関連Webページ
fujimura.ko(at)lab.ntt.co.jp seki.yoshiaki(at)lab.ntt.co.jp	http://ntt.ohita.is.uec.ac.jp/ http://www.ohita.is.uec.ac.jp/seki/

【講義の狙い，目標】

社会活動と協調する技術を構築する方法論を高い視点から学ぶ。これらの技術分野に興味があり、この分野における実用的な技術および研究方法を習得したい人。専門的な基礎知識は前提としない。

【内容】

本特論では、社会情報システムの要素と考えられる以下の項目に関して、理論、機能、構造、評価、応用等を論じる。

1. 情報検索アルゴリズム
2. Webマイニング技術
3. トラストモデルと評判管理システム
4. コミュニティ分析と可視化技術
5. 協調作業支援システムとグループウェア
6. ハイパーテキストシステムと組織的知識創造
7. RFID活用システムとプライバシー

進め方：

- ・いくつかの研究論文を使って研究事例を紹介し、研究の着眼点とアプローチを学ぶ。
- ・RubyやJavaScript等のスクリプト言語によるデータ分析アルゴリズムのコーディング事例や、データマイニングツールWEKAの利用法を紹介し、具体的事例に理論をどのように適用させるかを学ぶ。

【教科書，参考書】

教科書は利用しない。必要に応じてOHPを使用すると共に、配布資料と参考図書紹介を行う。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【予備知識】

情報システムおよびプログラミングに関する一般的な知識。

【演習】

基本的に毎回，短時間演習を行う。

【成績評価方法及び評価基準】

期末レポートと，毎回行う演習と，出席状況を考慮する。

【その他】

なし

関連図1

社会活動と協調する技術を構築する
方法論を学ぼう

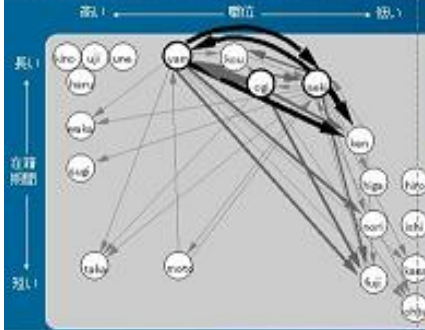
【研究キーワード】

- ・ グループウェア
- ・ 協調作業支援
- ・ 知識共有ネットワーク



関連図2

例： 組織内でのノウハウ伝播



- ・ 職位と在籍期間の近いユーザ間の強い伝播
- ・ 先輩から後輩への伝播